

いのちの教育 出前講座

やさしい移植医療のはなし



移植医療は
いのちをつなく
医療です

◆◆内容◆◆

移植医療の現状
脳死下・心停止後臓器提供
臓器提供の意思表示
骨髄バンク、ドナー登録
角膜移植、献眼について

※ご相談に応じます
※裏面をご確認ください

◆◆講師◆◆

島根県臓器移植コーディネーター
臓器移植、骨髄・造血幹細胞移植
を受けた方
骨髄・造血幹細胞提供をした方
臓器提供、角膜提供をされた方
ご家族 など

※費用（謝金、交通費、資料代等）はかかりません。会場をご準備ください。

裏面も
ご覧ください



お問い合わせ、お申し込みはこちら

公益財団法人ヘルスサイエンスセンター島根

しまねまごころバンク TEL 0853-22-2556

〒693-0021 島根県出雲市塩冶町223-7

しまねまごころバンク

検索



島根県健康福祉部
医療政策課

TEL 0852-22-5076

こんなお悩みはありませんか？

●移植医療の教材があっても、誰も知っている人がいない●インターネットで得られる情報ってどこまで正しいかわからない●どうしても他人事のようにとらえてしまう●移植医療は敬遠されがちだから…

》しまねまごころバンクにお任せください！

中学生に、道徳や公民、総合的な学習として

道徳の教科書や公民の教科書に臓器提供意思表示カードが出てきます。臓器を「提供したい」という意思表示は15歳から有効です。中学3年生向けに、意思表示のことでだけでなく、ドナー家族の気持ちになって考えてみる授業はいかがですか。

高校生に、生物、特別授業として

高校の生物基礎・生物の教科書には、臓器移植のこと、造血幹細胞移植のこと、拒絶反応のことが載っています。授業の補足として、移植医療の実際を知る機会を作ってみませんか。

医療福祉系の学生に移植医療を知る機会として

移植医療はまだ歴史が浅く、医療従事者であっても移植のことを詳しく知る機会ほとんどありません。学生の間に移植医療について知り、臨床現場で活かしてみませんか。

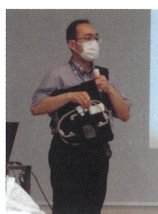
ごあいさつ・講師紹介



Comment

しまねまごころバンクは、島根県からの委託を受け、県民の皆さまに移植医療について普及啓発活動を行っています。移植医療のことを正しく知り、自分の考えを持てるよう、私たちがお手伝いします。お気軽にご相談ください。島根県臓器移植コーディネーターが所属しています(写真右)。

しまねまごころバンク



地域の講師

島根県内在住の、臓器移植経験者や骨髄・造血幹細胞移植経験者など、実際に移植を受けた方を講師にお招きすることもできます。ご希望の場合はお早めにご相談ください。

移植経験者



対面が難しい地域も

対面での授業が難しい地域でも、オンライン配信による受講が可能です。ご相談ください。

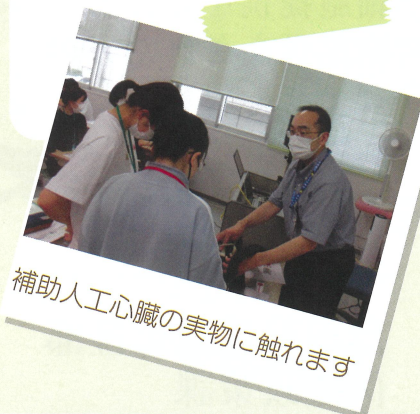
オンライン可能

受講者の感想

提供する家族の思いや、移植してもらう患者さんの思いなど、様々な複雑な思いを知ることができてよい機会になりました。もし私の家族のことだと思って考えると本人の気持ちがわからないし、傷つけないと思う気持ちも、移植することでどこかの誰かの命が助かる、家族のつないだ命がこれからもどこかで生き続けるのならと思う気持ちも両面あるので、いざ判断しないといけなくなると難しいなと思いました。これを機に私も家族と話をし、いのちについて考えてみたいと思いました。(中学3年生)

「移植」という言葉は聞いたことがあったし、ドラマなどでも耳にすることはあったけど、実際にこういうもののわかる機会はなかったのでも良い経験になりました。亡くなるという話がどうしても入ってくるので、とても苦しい気持ちにはなったけど、臓器移植コーディネーターの方が言っておられた亡くなる命と救われる命があるという言葉がとても印象に残っています。亡くなるという悲しいだけでなく、その命をもらい救われる人がいるという前向きな捉え方もできるものだと感じました。「いのちのリレー」という言葉もとても素敵だなと感じました。(高校2年生)

今回の講義で初めて脳死について詳しく知ることができた。回復する可能性のある植物状態とは全く別の状態で、回復する可能性はない。延命措置をとっても数日程度しか生存することができない。でも、心臓は動いていて温かい。自分の家族がそのような状態になったと想像した時、私は果たして臓器提供に承諾できるだろうかと思った。数日で亡くなると分かっているのに、亡くなるときを待つと、臓器提供を決めて2回目の脳死判定の終了時刻をもって死亡時刻とするのでは大きな違いがある。短期間で決断しなければならず、きっとどう選択したとしても一生後悔したり、考え続けていくことになると思う。そんな時に、生前の家族での話し合いや本人の意思表示が選択の助けになるのだと思った。今回コーディネーター、レシipientの貴重なお話を聞かせていただき、自分が当事者になったときどう感じるか、考えるかを想像することができた。(看護学生)



補助人工心臓の実物に触れます



中学校での授業の様子



資料だけの提供も可能です
お問い合わせください

会場だけご準備
ください
謝金・交通費
資料代不要!

しまねまごころバンク

お問い合わせはこちら

☎ 0853-22-2556